

Operations Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パック ガイド

Microsoft Corporation

発行日:2010 年 8 月

このドキュメントに関するご意見、ご感想を mpgfeed@microsoft.com までお寄せください。フィードバックには管理パック ガイド名を明記してください。

著作権

このドキュメントに記載されている情報 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、将来予告なしに変更することがあります。別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

© 2010 Microsoft Corporation.All rights reserved.

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows Server、および Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の商標はそれぞれの所有者に帰属します。

目次

[Operations Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パックの概要 4](#_Toc270980824)

[新機能 4](#_Toc270980825)

[サポートされる構成 5](#_Toc270980826)

[管理パックの監視対象 5](#_Toc270980827)

[はじめに 37](#_Toc270980828)

[準備 37](#_Toc270980829)

[ダウンロードするファイル 38](#_Toc270980830)

[推奨される追加の管理パック 39](#_Toc270980831)

[Windows Server DHCP 管理パックをインポートする方法 39](#_Toc270980832)

[カスタマイズ用の新しい管理パックの作成 39](#_Toc270980833)

[セキュリティの考慮事項 40](#_Toc270980834)

[低い特権の環境 40](#_Toc270980835)

[コンピューター グループ 40](#_Toc270980836)

[管理パックの機能について 40](#_Toc270980837)

[Windows Server DHCP 管理パックの検出 41](#_Toc270980838)

[クラス 41](#_Toc270980839)

[ヘルスのロールアップのしくみ 42](#_Toc270980840)

[主要な監視シナリオ 47](#_Toc270980841)

[監視対象オブジェクトをメンテナンス モードにする 48](#_Toc270980842)

[トラブルシューティング 49](#_Toc270980843)

[付録: 管理パックのモニターと上書き 49](#_Toc270980844)

[管理パックの詳細を表示する方法 49](#_Toc270980845)

[管理パックのモニターを表示する方法 49](#_Toc270980846)

[管理パックの上書きを表示する方法 50](#_Toc270980847)

[管理パックのすべてのルールを表示する方法 50](#_Toc270980848)

[モニターのしきい値を表示する方法 51](#_Toc270980849)

[パフォーマンス収集ルールを表示する方法 53](#_Toc270980850)

Operations Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パックの概要

このガイドでは、Operations Manager 2007 バージョン 6.0.6709.0 用の Windows Server DHCP 管理パックについて説明します。この管理パックは、Windows Server 2008 R2 の動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーの役割の監視に使用します。また、次のバージョンの Windows の DHCP サーバーの役割の監視にも使用できます。

Windows Server 2008

Windows Server 2003 および Service Pack

最新の管理パックとドキュメントの入手

Operations Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パックは、「[System Center Operations Manager 2007 カタログ (英語の可能性あり)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=82105)」(http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=82105) で入手できます。

新機能

Windows Server 2008 R2 DHCP のこのリリースでの新機能は次のとおりです。これらの機能は管理パックでもサポートされています。

 DHCP Administrators は リンク層に基づくフィルターによって、MAC アドレスに基づく DHCP リースと IP アドレスの発行/拒否を制御できます。

 名前保護によって、Windows 以外のコンピューターによる名前の占有を防止し、これらのコンピューターが登録済みの名前で DNS に登録しないようにします。

 特に分割スコープを使用する可能性のある冗長および高可用性の展開で、スコープ レベルでの IPv4 アドレス不足が起こらないようにします。

 DHCP Administrators は DHCP の動作状況ログを使用して、ネットワーク セキュリティの向上および IT 準拠の監査のために、構成の変更を監視できます。

 DHCP サーバー サービスが Local Service アカウントから Network Service アカウントへ移動されました。この際、DHCP サーバーによってコンピューターの資格情報がリモート サーバーに示されます。また、Network Service アカウントには特権がほとんどないため、侵害された場合でもサーバーへの損害が少なくてすみます。

 以下を含む使いやすさと運用の拡張機能:

 分割スコープ展開の構成に基づくウィザード。

 リースされたクライアントのリンク層ベースのフィルター構成用の、フィルターへのアドレス リース (複数選択をサポート)。

 リースされたクライアントの予約構成用の、予約へのアドレス リース (複数選択をサポート)。

サポートされる構成

Operations Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パックは、Microsoft Windows Server 2008 R2、2008 および 2003 の DHCP サーバーの役割をサポートしています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  オペレーティング システム  |  スタンドアロン DHCP  |  クラスター化された DHCP  |
|  |  (x64)  |  (x86)  |  (x64)  |  (x86)  |
| Microsoft Windows Server 2008 R2 | X | N/A | X | N/A |
| Microsoft Windows Server 2008 | X | X | X | X |
| Microsoft Windows Server 2003 | X (SP2) | X | X (SP2) | X |

管理パックの監視対象

次の表に、この管理パックの一覧を示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検出 | 説明 | 方法 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Discovery | (スタンドアロン環境およびクラスター化された環境の両方で) DHCP サーバーの開始状態に基づいて DHCP サーバーを検出します。 | レジストリ キー |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| クラス | 目的 | 注 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role | このクラスは、DHCP サーバー サービスとその機能の状態を示します。 | 基本クラスは Windows Computer ロールです。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| モニター | 検出された状態 | トラブルシューティング |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.BackupRestore.1 | データベースの DHCP システムの復元の失敗を検出します。 | データベースを修復し、既知の正常なバックアップから復元します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.BackupRestore.2 | DHCP がデータベースの検索およびバックアップに失敗しました。 | 有効なバックアップ パスを作成し、データベースを復元します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.DBIntegrity | DHCP が Jet データベースで不整合を検出しました。 | データベースを修復し、既知の正常なバックアップから復元します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.AD | ディレクトリ サービスもしくはドメイン コントローラーが使用できないため、DHCP がドメインと通信できません。 | DHCP サーバーとドメイン コントローラー間のネットワーク接続の問題を修正します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Backup | DHCP がサーバー レジストリ構成を復元できませんでした。 | ディレクトリをバックアップ/復元するための読み取り/書き込みのアクセス権をシステムに付与します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Communications | DHCP が参加するドメインを検索できませんでした。 | ネットワーク接続の問題を特定し、修正します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.GeneralAvailability.1 | DHCP の DLL コールアウトで例外が発生しました。 | DHCP サーバー サービスを再起動します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.GeneralAvailability.2 | DHCP がドメインの検索、DLL の読み込み、または承認の取得を行えないため、DHCP を使用できません。 | DHCP サーバーの承認 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.GeneralAvailability.3 | DHCP がドメインの検索、DLL の読み込み、または承認の取得を行えないため、DHCP を使用できません。 | DLL に実行権限を割り当てます。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.LeaseIssuance | DHCP が IP アドレスのリース前にクライアントに ping を実行できませんでした。 | 予約範囲または除外範囲を再構成します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.Monitor.DatabaseCorrupt | DHCP が自身のコンポーネントのうちの 1 つを初期化できませんでした。 | 既知の正常なバックアップから DHCP データベースを復元します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.Monitor.InitializationFailed | DHCP サービスが初期化に失敗しました。サーバーが構成済みの静的 IPv6 アドレスおよび適切な構成パラメーターを持たない限り、サーバーを初期化できません。 | DHCP サーバー サービスを再起動します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Scope.Monitor.ScopeFull | DHCP によって、スコープの最大容量に近づいていることが検出されました。スコープがいっぱいになると、DHCP は追加の IP アドレスをリースできなくなります。 | DHCP スコープの拡張、リース期間の短縮、またはクリーンアップ間隔の短縮 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.NAP.Monitor.NPSConnectivity | DHCP が NPS サーバーに到達してクライアント NAP アクセス状態を判断することができません。 | NPS サービスをインストールして起動するか、ネットワークを修復します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Monitor.BOOTPScopeFull | DHCP によって、スコープ内の BOOTP クライアントで使用可能な IP アドレスがないと判断されました。 | DHCP スコープの拡張、リース期間の短縮、またはクリーンアップ間隔の短縮 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Monitor.LeaseAvailability.2 | DHCP によって、スコープの最大容量に近づいていることが検出されました。 | DHCP スコープの拡張、リース期間の短縮、またはクリーンアップ間隔の短縮 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.DatabaseCorrupt | この移行で使用されているデータベースと使用中の DHCP バージョンとの互換性がないことが DHCP によって判断されました。 | DHCP データベース エクスポートを再作成して、インポートし直します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.Migration.1 | この移行で使用されているデータベースと使用中の DHCP バージョンとの互換性がないことが DHCP によって判断されました。 | DHCP データベース エクスポートを再作成して、インポートし直します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.BOOTPFileConfig | DHCP がレジストリから BOOTP ファイル テーブルを読み取ることができませんでした。 | BOOTP テーブルを作成するか、これにエントリを追加します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.DHCPServiceBoundToStaticIP | DHCP に静的 IP アドレスがないため、これが構成されるまでは、クライアントにサービスを提供できません。 | DHCP サーバーの静的アドレスを構成します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.DNSRegistration | DHCP が DNS 登録および動的 DNS 更新に必要な資格情報の偽装に失敗しました。 | 動的更新のための偽装資格情報を構成します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.GroupConfig | DHCP が、DHCP Users グループまたは DHCP Administrators ローカル グループを検索または作成できませんでした。 | DHCP サーバー サービスを再起動します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.InterfaceNotificationFailed | DHCP がインターフェイス一覧変更の通知を受信できませんでした。 | DHCP ネットワークの変更を判断します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.ServiceInitialization.1 | DHCP サービスが初期化に失敗しました。サーバーが構成済みの静的 IP アドレスおよび適切な構成パラメーターを持たない限り、サーバーを初期化できません。 | DHCP サーバー サービスを再起動します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.ServiceInitialization.2 | DHCP サービスが初期化に失敗しました。サーバーが構成済みの静的 IP アドレスおよび適切な構成パラメーターを持たない限り、サーバーを初期化できません。 | DHCP サーバーに静的 IP アドレスを構成します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.Monitor.StaticIPAssigned | DHCP が自身のコンポーネントのうちの 1 つを初期化できませんでした。 | DHCP サーバーに静的 IP アドレスを構成します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.ActivityLogging | DHCP 管理者がコミットした DHCP スコープの構成変更を追跡する | DHCP の動作状況ログによって、DHCP サーバーの構成変更を監視できます。ログは、ネットワーク セキュリティおよび IT 準拠の監査のために使用されます。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.DelayOffer | クライアントが、分割スコープ展開内のセカンダリ DHCP サーバーからリースを取得していません。 | 有効なサブネット プレフィックスおよびサブネット遅延の両方、またはいずれかを構成します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.LinkLayerFiltering | リンク層フィルターが正しく構成されていなかったため、クライアントが DHCP サーバーからリースを取得できませんでした。 | この問題を解決するには、許可一覧、拒否一覧の両方またはいずれかにある MAC アドレスを追加または削除する必要があります。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.NameProtection | 同じ名前が Windows ベース以外のコンピューターによって DNS 内に登録済みであるため、DHCP クライアントの DNS 登録が拒否されました。 | DHCP クライアントに一意の FQDN を構成し、DHCP サーバーが DNS 登録を実行する際に、その一意の FQDN、IP アドレス、および一意の DHCID で DNS レコードを更新できるようにします。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.System | UDP ポート 67/546 が他のプロセスまたはアプリケーションによって使用中であるため、DHCP サーバーおよび DHCPv6 サーバーそれぞれで使用することができません。DHCP サーバーのインターフェイス上に構成されている代替 DNS サーバーは、有効な DNS サーバー アドレスではありません。 | DHCP サーバー サービスを UDP ポート番号 67 とバインドします。DHCPv6 サーバー サービスを UDP ポート番号 546 とバインドします。有効な代替 DNS サーバー アドレスを構成します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Monitor.DependentServiceHealth | DHCP が依存している 1 つ以上のサービスが失敗したため、DHCP は初期化を実行できません。 | DHCP サーバー上の Winsock プロキシ クライアントを無効にします。DHCP サーバー サービスを再起動します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Monitor.ServiceInitialized | DHCP が自身のコンポーネントのうちの 1 つを初期化できませんでした。 | DHCPv6 サーバー サービスを再起動します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Monitor.OrphanedEntry | クラスまたはオプションの定義が削除されたため、DHCP によってデータベース エントリが切り離されました。 | DHCP スコープを調整します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Monitor.UnknownScopeOption | DHCP がクライアントから不明なオプションを受信しました。 | サーバー上の DHCP オプションを、クライアントに適合するように構成します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Auditing.1 | 監査ログがいっぱいであるかアクセス不可であるため、DHCP によって監査ログへの書き込みができないと判断されました。 | 監査ログのパスを編集します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Auditing.2 | 監査ログがいっぱいであるかアクセス不可であるため、DHCP によって監査ログへの書き込みができないと判断されました。 | 監査ログのパスを編集します。古い監査ログ ファイルを削除するか、監査ログの最大サイズを増やします。DHCP サービス アカウントに対し、監査ログのファイルおよびフォルダーへのアクセス許可を付与します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Auditing.3 | 監査ログがいっぱいであるかアクセス不可であるため、DHCP によって監査ログへの書き込みができないと判断されました。 | DHCP サービス アカウントに対し、監査ログのファイルおよびフォルダーへのアクセス許可を付与します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.AuthorizationAndConflicts | DHCP によって、ドメイン上のクライアントへのリースがサーバーで承認されていないか、ワークグループ内で他の承認済み DHCP サーバーとの競合があると判断されました。 | DHCP サーバーを承認するか、他のアクティブな DHCP サーバーを削除します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.RogueDetection.1 | DHCP によって、ネットワーク上で他の DHCP サーバーが検出されました。 | DHCP サーバーの承認 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.RogueDetection.2 | DHCP がサーバーを承認できません。サーバーは、Active Directory ドメイン サービス内で承認される必要があります。 | ネットワーク接続の問題を特定し、修正します。 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.Monitor.Auditing | 監査ログがいっぱいであるかアクセス不可であるため、DHCPv6 によって監査ログへの書き込みができないと判断されました。 | 古い監査ログ ファイルを削除するか、監査ログの最大サイズを増やします。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 収集ルール | 目的 | 注 |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.BackupPathFail | DHCP データベースのバックアップ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.CleanupComplete | DHCP データベースのクリーンアップが完了しました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.CleanupStarted | DHCP データベースのクリーンアップが開始されました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.ConversionInProgress | DHCP データベースの変換中 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.ConversionRequired | DHCP データベースの変換が必要です。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.DatabaseBackupFail | データベースのバックアップに失敗しました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.DBCleanup | DHCP データベース クリーンアップ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.DBLoadFail | データベースの読み込みの失敗 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.DBPathFail | データベース パスでの失敗 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.InitFail | データベース初期化の失敗 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.JetErrors | Jet データベースのエラー |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.JetWarnings | Jet データベースの警告 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.RestoreCompleted | データベース復元の完了 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Collect.RestoreFailed | データベース復元の失敗 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.AuditLogAppendFailed | DHCP 監査ログの追加失敗 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.AuditLogInitFailed | DHCP 監査ログの初期化失敗 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.AuditLogMoveFailed | DHCP 監査ログの移動失敗 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.AuthorizedAndStarted | DHCP サーバー サービスが承認され起動しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.BadAuditPath | DHCP が監査ファイル パスにアクセスできません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.BOOTPFileFailed | DHCP が DHCP BOOTP ファイル テーブルをレジストリから読み取れません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.CalloutLoadException | インストールされたコールアウト DLL ファイルが例外の原因です。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.CalloutLoadFailed | DHCP がコールアウト DLL の読み込みに失敗しました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.CalloutLoadSuccess | コールアウト DLL が正しく読み込まれました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.ClientCleanup | 保留中のクライアント レコードのクリーンアップ中にエラーが発生しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.ConfigBackup | レジストリのバックアップ中にエラーが発生しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DHCPLocalGroupFailed | DHCP が DHCP ローカル ユーザー グループを作成または読み取りできません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DomainAuthorized | DHCP がドメイン内で承認されています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DomainAuthorizedAndStarted | DHCP がドメイン内で承認されており、クライアントにサービスを提供しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DomainError | DHCP がドメインを見つけることができません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DomainNotAuthorized | DHCP がドメイン内で承認されていません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DomainUnauthorized | DHCP がドメイン内で承認されていません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DomainUnchecked | DHCP がドメイン承認を確認できませんでした。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DomainUpgraded | DHCP が最近アップグレードされ、ドメインの開始が承認されました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DSFailed | DHCP がドメイン コントローラーと通信できませんでした。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.DynamicAddress | DHCP が動的 IP アドレスを検出します。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.GlobalBOOTPFileNameFailed | DHCP がレジストリからのグローバル BOOTP ファイル名の読み取りに失敗しました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.InitFailed | DHCPが、自身の構成パラメーターの初期化に失敗しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.InterfaceNotificationFailed | DHCP がインターフェイス通知に関する問題を検出しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.NetworkFailure | ネットワーク障害 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.OtherServer | DHCP ワークグループ サーバーが、ドメイン サーバーを検出しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.PingFailed | DHCP が新しいアドレスに ping を実行できませんでした。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.RegistryRestoreFailed | DHCP レジストリ構成を復元中にエラーが発生しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.RogueServerDetected | DHCP が同じネットワーク上に承認されていない DHCP サーバーを検出しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.Upgraded | DHCP が最近アップグレードされ、開始が承認されました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Collect.WinsockFailed | Winsock の初期化に失敗しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.CollectCalloutFailed | インストール済みのコールアウト DLL ファイルに対するコールアウトで、例外が発生しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.CollectNotAuthorized | DHCP サーバーの開始が承認されていません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.CollectUnauthorized | DHCP が承認されていません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.CollectWrongDNSCreds | DHCP が DNS 登録用に提供された資格情報を使用できません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.NoCredsOnDC | DHCP がドメイン コントローラー上で実行されていますが、DNS 情報の登録用の特定の資格情報がありません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.SBSOtherServer | SBS DHCP が他の DHCP サーバーを検出しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.CollectEvents | DHCP サーバー ランタイム イベント |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Scope.CollectEvents | DHCP IPv6 スコープ イベント |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.NAP.Collect.IASHelperConnectFailure | NAP IAS ヘルパー接続の失敗 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.DDNSUpdateRequest | DDNS 更新が要求されています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.DDNSUpdateSuccess | DDNS 更新が正常に終了しています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.DHCPInitialized | DHCP でクライアントにサービスを提供する準備ができています。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.DHCPNotBoundToStaticIPAddress | 静的に構成された IP アドレスを持つアクティブ ネットワーク インターフェイスがないか、アクティブなインターフェイスがないため、DHCP サービスはクライアントにサービスを提供していません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.InitDataFailed | DHCP が自身のグローバル パラメーターを初期化できません。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.InitRegistryFailed | DHCP サーバーが自身のレジストリ パラメーターの初期化に失敗しました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.RegistrationFailure | DHCP サービスが、サービス コントローラーで登録できませんでした。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.RPCFail | DHCP サーバーが RPC サーバーとしての起動に失敗しました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.ScriptTraceEvents | DHCP サーバー スクリプト ベースのイベント |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Collect.WinsockFailed | DHCP サーバーが自身の Winsock データの初期化に失敗しました。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.AcksPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP ACK/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.ActiveQueueLength | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP のアクティブなキューの長さ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.ConflictCheckQueueLength | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP の競合チェックのキューの長さ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.DeclinesPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 拒否/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.Deniedduetomatch | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - 一致による DHCP 拒否 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.DeniedDueToNonMatch | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - 不一致による DHCP 拒否 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.DiscoversPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 検出/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.DuplicatesDroppedPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 重複破棄/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.InformsPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 通知/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.MillisecondsPerPacketAvg | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 平均ミリ秒/パケット |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.NacksPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP NACK/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.OfferQueueLength | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 提供キューの長さ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.OffersPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 提供/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.PacketsExpiredPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 期限切れパケット/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.PacketsReceivedPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 受信パケット/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.ReleasesPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 解放/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.RequestsPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCP 要求/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.AcksPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 ACK/秒 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.ActiveQueueLength | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 ActiveQueueLength |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.AdvertisesPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 AdvertisesPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.ConfirmsPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 ConfirmsPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.DeclinesPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 DeclinesPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.DuplicatesDroppedSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 DuplicatesDroppedSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.InformsPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 InformsPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.MillisecondsPerPacketAvg | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 MillisecondsPerPacketAvg |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.PacketsExpiredPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 PacketsExpiredPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.PacketsReceivedPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 PacketsReceivedPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.RebindsPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 RebindsPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.ReleasesPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 ReleasesPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.RenewsPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 RenewsPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.RequestsPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 RequestsPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.PerformanceCollection.V6.SolicitsPerSecond | DHCP サーバー パフォーマンス モニター - DHCPv6 SolicitsPerSecond |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.ServiceInitialized | DHCP サーバー サービスの初期化 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Rule.ActivityLogging | DHCP 管理者が DHCP サーバーの構成変更を監視できます。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Rule.DelayOffer | 遅延構成を持つスコープ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Rule.LinkLayerFiltering | リンク層ベースのフィルター構成 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Rule.NameProtection | 名前の保護の構成 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Collect.LeaseDeclined | 拒否されたリース |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Collect.LowAddressWarning | 使用可能なリースで不足している IPv4 スコープ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Collect.NACKIssued | 発行済みの IPv4 NACK |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Collect.ScopeFull | 使用可能なリースのない IPv4 スコープ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Collect.UnknownOption | 不明 DHCP オプションの要求を含む IPv4 DHCP クライアントの要求 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.CollectBOOTPFull | 使用可能なアドレスの不足のために対応できなかった IPv4 BOOTP 要求 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.CollectLeaseRelease | 解放済みの IPv4 リース |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.CollectOrphanedEntriesDeleted | クラスまたはオプションの定義が削除されたため、構成内で削除された孤立エントリ |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.System | DHCP サーバー サービス |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 表示 | 目的 | 注 |
| 各表示を説明します。 | 使用目的について説明します。 |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.AllActiveAlerts | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべてのアクティブなアラートを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.AllEvents | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべてのイベントを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.HealthState | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーの正常性の状態を表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.View.AllPerformanceCounters | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべてのパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.View.Performance.ActiveQueueLength | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv4 のアクティブなキューの長さのパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.View.Performance.ConflictCheckQueueLength | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv4 の競合チェックのキューの長さのパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.View.Performance.AverageMillisecondsPerPacket | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv4 の平均ミリ秒/パケットのパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.View.Performance.DeclinesPerSecond | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv4 拒否/秒のパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.View.Performance.DiscoversPerSecond | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv4 検出/秒のパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.View.Performance.NACKsPerSecond | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv4 NACK/秒のパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6.View.Performance.ActiveQueueLength | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv6 のアクティブなキューの長さのパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6.View.Performance.AcksPerSecond | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv6 ACK/秒のパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6.View.Performance.ConfirmsPerSecond | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv6 確認/秒のパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6.View.Performance.ReleasesPerSecond | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv6 解放/秒のパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6.View.Performance.RequestsPerSecond | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv6 要求/秒のパフォーマンス カウンターを表示する |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6.View.Performance.SolicitsPerSecond | Windows Server 2008 R2 DHCP サーバーのすべての IPv6 要請/秒のパフォーマンス カウンターを表示する |

はじめに

このセクションでは、管理パックをインポートする前に実行する必要がある操作、管理パックをインポートした後に実行する必要がある手順、およびカスタマイズに関する情報について説明します。このガイドを入手しているユーザーは、管理パック ファイルをダウンロード済みであることを前提とします。ダウンロード済みでない場合は、次の「ダウンロードするファイル」セクションに一覧表示されているファイルを参照してください。

準備

Operation Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パックをインポートする前に、このリリースに関する次の制限事項を確認してください。

 マルチキャスト スコープはサポートされません。

 DHCP サーバー 1 台で監視する DHCP スコープの、テスト済みでサポートされている最大数は 2450 スコープです。このテストに使用した DHCP サーバーのシステム詳細は次のとおりです。

|  |  |
| --- | --- |
| アイテム | 値 |
| システム モデル | バーチャル マシン |
| システムの種類 | x64 ベースの PC |
| プロセッサー | Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 (2.83 GHz、2826 Mhz、1 コア、1 論理プロセッサー) |
| 搭載されている物理メモリ (RAM) | 1.00 GB |
| 物理メモリの合計 | 1.00 GB |
| 仮想メモリの合計 | 2.00 GB |

 DHCP スコープ名が長いと 20 文字に切り詰められます。これにより、短縮された 2 つのスコープ名が同じになると競合が発生します。スコープ名の競合を防ぐには、スコープ名の長さを 20 文字以下に制限します。

Operations Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パックをインポートする前に、次の操作を実行します。

 既存の Operations Manager 2007 データベースの完全バックアップを実行します。

 既存の DHCP 管理パックをすべてアンインストールします。新しい DHCP 管理パックで使用する場合に備えて、カスタムの上書きやルールを記録することもできます。

ダウンロードするファイル

Windows Server DHCP を監視するには、まず [http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=82105 (英語の可能性あり)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=82105) にある管理パック カタログから Operations Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パックをダウンロードする必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 管理パック名 | 目次 | 必須 |
| Operations Manager 2007 用の Microsoft Windows Server DHCP 管理パック | Operations Manager 2007 用の Microsoft Windows Server DHCP 2008 R2 管理パックこの管理パックには、DHCP インフラストラクチャを監視するためのモニター、ルール、ビュー、およびレポートが含まれています。アラートには、DHCP で処理が失敗した場合に問題を解決するのに役立つ、状況に応じた情報のナレッジ ベースが含まれます。 | 6.0.6709.0 | はい |

推奨される追加の管理パック

クラスター化された DHCP 展開がある場合、クラスター管理パックを DHCP 管理パックと一緒にダウンロードする必要があります。クラスター管理パックは、ユーザーの Windows Server 2003 および Windows Server 2008 R2 のクラスター展開を主体的および対応的に監視する機能を提供します。この管理パックは、ノード、ネットワーク、リソース、リソース グループなどのクラスター サービス コンポーネントを監視して、ダウンタイムやパフォーマンスの低下を引き起こす可能性のある問題を報告します。

Windows Server DHCP 管理パックをインポートする方法

管理パックをインポートする手順については、「[Operations Manager 2007 に管理パックをインポートする方法 (英語の可能性あり)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=98348)」(http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=98348) を参照してください。

DHCP 管理パックのインポート後、上書きおよびその他のカスタマイズを格納する新しい管理パックを作成します。

カスタマイズ用の新しい管理パックの作成

ほとんどのベンダーの管理パックは保護されているので、管理パック ファイルの元の設定は一切変更できません。ただし、上書き、新しい監視オブジェクトなどのカスタマイズを作成し、それらを別の管理パックに保存することができます。Operations Manager 2007 の既定では、すべてのカスタマイズは既定の管理パックに保存されます。ベスト プラクティスとして、代わりに、カスタマイズする保護された管理パックごとに、別の管理パックを作成することをお勧めします。

上書きを格納する新しい管理パックを作成することにより、次の利点を得ることができます。

 テスト環境や運用前の環境で作成したカスタマイズを運用環境にエクスポートするプロセスが簡単になります。たとえば、複数の管理パックのカスタマイズを格納している既定の管理パックをエクスポートする代わりに、単一の管理パックのカスタマイズを格納している管理パックだけをエクスポートできます。

 既定の管理パックを先に削除しなくても、元の管理パックを削除できるようになります。カスタマイズを格納する管理パックは元の管理パックに依存します。この依存関係のため、カスタマイズを含む管理パックを先に削除しないと、元の管理パックは削除できません。すべてのカスタマイズが既定の管理パックに保存されている場合、元の管理パックを削除するには、あらかじめ既定の管理パックを削除しておく必要があります。

 個々の管理パックに対するカスタマイズの追跡および更新が簡単になります。

保護された管理パックと保護されていない管理パックの詳細については、「[管理パックのフォーマット (英語の可能性あり)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108355)」(http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108355) を参照してください。管理パックのカスタマイズおよび既定の管理パックの詳細については、「[Operations Manager 2007 の管理パックについて (英語の可能性あり)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108356)」(http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108356) を参照してください。

セキュリティの考慮事項

管理パックのカスタマイズが必要な場合があります。低い特権の環境では実行できないアカウントや、最低限のアクセス許可を持つ必要があるアカウントがあります。

低い特権の環境

Windows Server DHCP 管理パックには、DHCP アクション アカウントという実行プロファイルが含まれています。このプロファイルをユーザー定義のアクション アカウントに割り当てることで、低い特権の環境での実行に対応することができます。

アクション アカウントには以下の権限が必要です。

 レジストリの読み取りアクセス許可

 HKLM\CurrentControlSet\Services\DHCPServer\Performance キーおよびすべてのサブキーへのフル アクセス

 イベント ログの読み取りアクセス許可

 DHCP Users グループまたは DHCP Administrators グループのメンバー (管理ノードがドメインに参加しているかどうかに応じて、ローカルのセキュリティ アカウント マネージャー (SAM) または Active Directory ドメイン サービス (AD DS) にあります)

 サーバー オペレータ (DHCP サービスを開始および停止できるようにする場合)

 サービス アカウントの一時ディレクトリに一時ファイルを作成できること

コンピューター グループ

ユーザー ロールを使用して、適切なレベルに権限を委任できます。ユーザー ロールの詳細については、Operations Manager 2007 ヘルプの「[Operations Manager 2007 のユーザー ロールについて (英語の可能性あり)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108357)」(http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108357) を参照してください。

Windows Server 2008 では、次のコンピューター グループをスコープおよびロールの認証に使用できます。

 Windows 2008 R2、2008、および 2003 のすべての DHCP サーバー

管理パックの機能について

Windows Server DHCP 管理パックは、Perfmon カウンター、イベント ログ エントリ、および netsh dhcp server コマンドによってアクセスできるビルトインの DHCP インストルメンテーションを使用して、Windows DHCP ロールのすべてのコンポーネントに関するヘルス、可用性、パフォーマンス、セキュリティ、構成などのあらゆる側面を監視します。

Windows Server DHCP 管理パックの検出

Operations Manager 2007 用の Windows Server 動的ホスト構成プロトコル (DHCP) 管理パックによって、次の表にあるオブジェクトの種類が検出されます。すべてのオブジェクトが自動的に検出されるとは限りません。自動的に検出されないクラスを検出するには、上書きを使用します。

オブジェクトの検出の詳細については、「[Operations Manager 2007 のオブジェクト検出 (英語の可能性あり)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108505)」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カテゴリ | オブジェクトの種類 | 自動検出 |
| Windows Server 2008 R2 の DHCP サーバーの役割 | DHCP サーバー サービス | あり |

自動検出を有効にするには、次の手順を使用します。

上書きを使用して自動検出の設定を変更するには

|  |
| --- |
| 1. [作成] ウィンドウで[管理パック オブジェクト] を展開し、[オブジェクト検出] をクリックします。2. Operations Manager のツール バーで [スコープ] をクリックします。次に、DHCP オブジェクトだけが含まれるように、詳細ウィンドウに表示されるオブジェクトをフィルターします。3. Operations Manager のツール バーで、[スコープ] ボタンを使用してオブジェクトの一覧をフィルター処理し、[Microsoft Windows 2008 R2 の DHCP サーバーの検出] をクリックします。[作成] ウィンドウで[管理パック オブジェクト] を展開し、[オブジェクト検出] をクリックします。4. Operations Manager のツール バーで、[上書き]、[オブジェクト検出の上書き]、[クラス Windows Server のすべてのオブジェクト] の順にクリックします。5. [上書きのプロパティ] ダイアログ ボックスで、[有効] パラメーターの [上書き] ボックスをクリックします。6. [管理パック] の下の [新規] をクリックして、保護されていないバージョンの管理パックを作成し、[OK] をクリックします。 |

上書きの設定を変更すると、このオブジェクトの種類が自動検出されて [監視] ウィンドウに表示されるようになります。

クラス

次のクラスは OpsMgr の組み込みの役割から派生した DHCP サーバーの役割と共にこの管理パックで定義されています。

|  |
| --- |
| Microsoft.Windows.ComputerRole (OpsMgr の組み込みの役割) |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role (DHCP サーバーの役割) |

ヘルスのロールアップのしくみ

次の表に、コンポーネントのヘルス状態がこの管理パックでロールアップされるしくみを示します。

|  |
| --- |
| (重大） エンティティ ヘルス - dhcpserver.dadomain-v2.com (エンティティ） |
|  (重大） 可用性 - dhcpserver.dadomain-v2.com (エンティティ） |
|  ハードウェア可用性のロールアップ – dhcpserver.dadomain-v2.com (Windows サーバー) |
|  オペレーティング システム可用性のロールアップ – dhspserver.dadomain-v2.com (Windows サーバー) |
|  Ping 状態 – dhcpserver.dadomain-v2.com (Windows コンピューター) |
|  (重大) Windows コンピューター ロールのヘルス ロールアップ – dhcpserver.dadomain-v2.com (Windows コンピューター) |
|  (重大） 可用性 - dhcpserver.dadomain-v2.com (エンティティ） |
|  (正常) DLL の例外が発生した – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) DLL で例外が発生したか、DHCP サーバーが AD にアクセスできない – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) DLL で例外が発生したか、DHCP サーバーが AD にアクセスできない – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) バックアップ復元の失敗 – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) ネットワーク インフラストラクチャの重要なコンポーネント間の通信が中断された – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) BOOTP のスコープが許容量に到達した – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) DHCP バックアップ失敗 – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) DHCP データベースが破損している – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) IPv4 アドレスの DHCP スコープが許容量に達した – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) DHCP サーバーが初期化に失敗した – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) DHCP サーバーが NPS サーバーと通信できない – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) DHCPv6 のスコープが許容量に到達した – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) DHCPv6 サーバーが初期化に失敗した – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) AD の承認を確立できない – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) リースを発行するためのクライアントに Ping を実行できない – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常) レジストリを復元できない – dhcpserver.dadomain-v2.com (Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role) |
|  (正常） Windows ローカル アプリケーションのヘルス ロールアップ – dhcpserver.dadomain-v2.com (Windows コンピューター) |
|  (正常） 構成 - dhcpserver.dadomain-v2.com (エンティティ） |
|  (正常） パフォーマンス - dhcpserver.dadomain-v2.com (エンティティ） |
|  (正常） セキュリティ - dhcpserver.dadomain-v2.com (エンティティ） |

上記のサンプルの場合: “AD の承認を確立できない“ モニターに問題または重大な障害が発生しているため、これより上位レベルのすべてのコンテナーと “可用性” にも問題または重大な障害が発生しています。

管理パックのモニターとその正常性の状態の一覧は次のとおりです。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  モニター  |  |  |  |
| Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role |  |  |  |
|  System.Health.EntityState |  |  |  |
|  System.Health.AvailabilityState |  |  |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.BackupRestore.1 | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.BackupRestore.2 | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.DBIntegrity | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.AD | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Backup | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Communications | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.GeneralAvailability.1 | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.GeneralAvailability.2 | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.GeneralAvailability.3 | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.LeaseIssuance | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.Monitor.DatabaseCorrupt | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.Monitor.InitializationFailed | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Scope.Monitor.ScopeFull | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.DHCPServiceRunning | 正常 | 重大 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.NAP.Monitor.NPSConnectivity | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Monitor.BOOTPScopeFull | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Monitor.LeaseAvailability.2 | 警告 | 正常 |  |
|  System.Health.ConfigurationState |  |  |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.DatabaseCorrupt | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Database.Monitor.Migration.1 | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.BOOTPFileConfig | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.DHCPServiceBoundToStaticIP | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.DNSRegistration | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.GroupConfig | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.InterfaceNotificationFailed | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.ServiceInitialization.1 | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.ServiceInitialization.2 | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.Monitor.StaticIPAssigned | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.ActivityLogging | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.DelayOffer | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.LinkLayerFiltering | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.NameProtection | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Monitor.System | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Monitor.DependentServiceHealth | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Role.Monitor.ServiceInitialized | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Monitor.OrphanedEntry | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.Scope.Monitor.UnknownScopeOption | 警告 | 正常 |  |
|  System.Health.PerformanceState |  |  |  |
|  System.Health.SecuirtyState |  |  |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Auditing.1 | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Auditing.2 | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.Auditing.3 | 警告 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.AuthorizationAndConflicts | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.RogueDetection.1 | 重大 | 警告 | 正常 |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv4Runtime.Monitor.RogueDetection.2 | 重大 | 正常 |  |
|  Microsoft.Windows.2008R2.DHCP.Server.IPv6Runtime.Monitor.Auditing | 警告 | 正常 |  |

主要な監視シナリオ

Operations Manager 2007 用の Windows Server DHCP 管理パックには、構成できる主要な監視シナリオが多数含まれています。

|  |  |
| --- | --- |
| シナリオ | 説明 |
| DHCP サーバーのヘルス  | このサーバー中心のビューは、あらゆる DHCP コンポーネントのヘルス、可用性、セキュリティ、および構成を監視します。また、集合モニターを使用して状態をロールアップします。**** この DHCP サーバーは機能していますか。**** すべての DHCP スコープに、分配するのに十分な IP アドレスが残っていますか。 |
| DHCP サービスのヘルス | このサービス全体のビューは、あらゆる DHCP コンポーネントのヘルス、可用性、セキュリティ、および構成を監視し、集合モニターを使用して状態をロールアップします。 **** 現在、エンタープライズ全体で、すべての DHCP サーバーが正常ですか。  |
| DHCP コア コンポーネントのヘルス | DHCP はクライアントに対応できる状態ですか。**** DHCP サービスは実行されています。**** 定義されているすべてのネットワーク カードにバインドされています。**** Active Directory ディレクトリ サービスで正常に認証されています。 |
| DHCP データベースのヘルス | DHCP データベースは正常ですか。**** すべてのスコープおよびスーパースコープを読み込むことができます。**** データベースで使用できる十分な空きディスク領域があります。**** データベースは壊れていません。 |
| DHCP セキュリティのヘルス (Windows Server 2008 R2) | **** セキュリティ関連の問題が発生していますか。**** DHCP サービスは、ドメイン ネーム システム (DNS) へのセキュリティで保護された更新を実行していますか。**** 承認されていないサーバーを DHCP サーバーが検出しましたか。 |
| DHCP パフォーマンスのヘルス | **** DHCP サーバーのキューは正常ですか。**** DHCP サーバーは、すべてのクエリに対して直ちに応答していますか。 |
| DHCP 構成の変更 | **** 構成の変更を検出します。変更に対してアラートを生成することもできます。**** 構成レポートはエンタープライズ全体において整合性がない設定をすべて示すので、ユーザーはそのような不整合をサービス関連の問題に関連付けることができます。 |
| DHCP パフォーマンス カウンター収集 | 過去のパフォーマンスに関するグラフやレポートを作成する機能を提供します。 |

監視対象オブジェクトをメンテナンス モードにする

コンピューターや分散アプリケーションなどの監視対象オブジェクトをメンテナンスのためにオフラインにすると、Operations Manager 2007 はエージェント ハートビートが受信されないことを検知し、結果的に大量のアラートと通知を生成することがあります。このようなアラートと通知を防止するには、監視対象オブジェクトをメンテナンス モードに切り替えます。メンテナンス モードでは、アラート、通知、ルール、モニター、自動応答、状態の変更、および新しいアラートがエージェントで抑制されます。

監視対象オブジェクトをメンテナンス モードにする一般的な手順については、「[Operations Manager 2007 の監視対象オブジェクトをメンテナンス モードにする方法 (英語の可能性あり)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108358)」(http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108358) を参照してください。

トラブルシューティング

スクリプト デバッグ

DHCP サーバーが正しく検出または監視されない場合、スクリプト デバッグを有効にし、結果の出力を収集して調査できます。また、サポートが必要な場合に、問題を解決するためにスクリプト デバッグが必要になります。

デバッグを有効にするには、目的のユニット モニターまたは検出を選択し、DebugFlag パラメーターを true に設定する上書きを作成します。

スクリプトの実行後、DHCP スクリプト トレース イベントと呼ばれる表示ですべてのデバッグ情報を確認できます。さらに、DebugFlag パラメーターが true の設定で実行されていた、管理されているコンピューターの Operations Manager イベント ログでもデバッグ情報を確認できます。

Operations Manager イベント ログは、表示して、後で調査できるようにイベント ログ ファイルとして保存することも、カスタマー サポートを利用して、表示されたサポート案件番号と共に Microsoft に送信することもできます。

付録: 管理パックのモニターと上書き

このセクションでは、インポートする管理パックのルールやその他の情報を表示するための、詳細な手順とスクリプトについて説明します。

管理パックの詳細を表示する方法

モニターおよび関連する上書き値の詳細については、モニターのナレッジを参照してください。

モニターのナレッジを表示するには

|  |
| --- |
| 1. オペレーション コンソールで、[作成] をクリックします。2. [管理パック オブジェクト] を展開し、[モニター] をクリックします。3. [モニター] ウィンドウで、モニターのレベルに達するまでターゲットを展開します。または、[検索] ボックスを使用して、特定のモニターを検索することもできます。4. モニターをクリックし、[モニター] ウィンドウで [ナレッジの表示] をクリックします。5. [製品ナレッジ] タブをクリックします。 |

管理パックのモニターを表示する方法

コマンド シェルを使用して管理パックのモニターおよび上書きの出力の一覧を表示するには、次の手順を使用します。

管理パックのモニターを表示するには

|  |
| --- |
| 1. コマンド シェルで、次のコマンドを入力します。get-monitor -managementPack name.mp | export-csv filename2. .csv ファイルが作成されます。この .csv ファイルは、Microsoft Office Excel で開くことができます。注意 Excel では、.csv ファイルをテキスト ファイルとして指定することが必要になる場合があります。 |

たとえば、次のコマンドは、コア管理パックの 1 つに関連付けられているモニターのデータを取得します。

get-monitor -managementPack System.Health.Library.mp | export-csv "C:\monitors.csv"

管理パックの上書きを表示する方法

管理パックの上書きを表示するには、次の手順を使用します。

管理パックの上書きを表示するには

|  |
| --- |
| 1. コマンド シェルで、次のコマンドを入力します。get-override -managementPack name.mp | export-csv filename2. .csv ファイルが作成されます。この .csv ファイルは、Excel で開くことができます。注意 Excel では、.csv ファイルをテキスト ファイルとして指定することが必要になる場合があります。 |

たとえば、次のコマンドでは、コア管理パックの 1 つに対する上書きが表示されます。

get-override -managementPack Microsoft.SystemCenter.OperationsManager.Internal.mp | export-csv "c:\overrides.csv"

管理パックのすべてのルールを表示する方法

インポートした管理パックのルールの一覧を表示するには、次の手順を使用します。ルールの一覧は、Excel で表示できます。

管理パックのルールを表示するには

|  |
| --- |
| 1. 管理サーバーで、[プログラム]、[System Center] の順にクリックします。2. [コマンド シェル] をクリックします。3. コマンド シェル ウィンドウで、次のコマンドを入力します。get-rule | select-object @{Name="MP";Expression={ foreach-object {$\_.GetManagementPack().DisplayName }}},DisplayName | sort-object -property MP | export-csv "c:\rules.csv"4. .csv ファイルが作成されます。この .csv ファイルは、Excel で開くことができます。注意 Excel では、.csv ファイルをテキスト ファイルとして指定することが必要になる場合があります。 |

モニターのしきい値を表示する方法

モニターのしきい値を表示するには、このセクションで説明するスクリプトを使用します。このスクリプトは、ほとんどのモニターに有効です。以下の列を含む .csv ファイルがスクリプトによって作成されます。このファイルは、Excel を使用して表示できます。

|  |  |
| --- | --- |
| 列 | 説明 |
| Type | モニターの対象となるオブジェクトの種類 |
| DisplayName | モニターの表示名 |
| Threshold | モニターで使用されるしきい値 |
| AlertOnState | 状態が変化したときにモニターがアラートを生成するかどうかを指定します。 |
| AutoResolveAlert | モニターの状態が緑色に戻ったときに、生成されたアラートを自動的に解決するかどうかを指定します。 |
| AlertSeverity | 生成されたアラートの重要度 |

モニターのしきい値を表示する .csv ファイルを作成するには、次のスクリプトを実行します。

function GetThreshold ([String] $configuration)

{

$config = [xml] ("<config>" + $configuration + "</config>")

$threshold = $config.Config.Threshold

if($threshold -eq $null)

{

$threshold = $config.Config.MemoryThreshold

}

if($threshold -eq $null)

{

$threshold = $config.Config.CPUPercentageThreshold

}

if($threshold -eq $null)

{

if($config.Config.Threshold1 -ne $null -and $config.Config.Threshold2 -ne $null)

{

$threshold = "first threshold is: " + $config.Config.Threshold1 + " second threshold is: " + $config.Config.Threshold2

}

}

if($threshold -eq $null)

{

if($config.Config.ThresholdWarnSec -ne $null -and $config.Config.ThresholdErrorSec -ne $null)

{

 $threshold = "warning threshold is: " + $config.Config.ThresholdWarnSec + " error threshold is: " + $config.Config.ThresholdErrorSec

}

}

if($threshold -eq $null)

{

if($config.Config.LearningAndBaseliningSettings -ne $null)

{

$threshold = "no threshold (baseline monitor)"

}

}

return $threshold

}

$perfMonitors = get-monitor -Criteria:"IsUnitMonitor=1 and Category='PerformanceHealth'"

$perfMonitors | select-object @{name="Target";expression={foreach-object {(Get-MonitoringClass -Id:$\_.Target.Id).DisplayName}}},DisplayName, @{name="Threshold";expression={foreach-object {GetThreshold $\_.Configuration}}}, @{name="AlertOnState";expression={foreach-object {$\_.AlertSettings.AlertOnState}}}, @{name="AutoResolveAlert";expression={foreach-object {$\_.AlertSettings.AutoResolve}}}, @{name="AlertSeverity";expression={foreach-object {$\_.AlertSettings.AlertSeverity}}} | sort Target, DisplayName | export-csv "c:\monitor\_thresholds.csv"

パフォーマンス収集ルールを表示する方法

パフォーマンス収集ルールを表示するには、このセクションのスクリプトを使用します。このスクリプトは、ほとんどのモニターに有効です。以下の列を含む .csv ファイルがスクリプトによって作成されます。このファイルは、Excel を使用して表示できます。

|  |  |
| --- | --- |
| 列 | 説明 |
| WriteAction | パフォーマンス カウンターが書き込まれる場所に関する情報が含まれます。 |
| WriteToDB または CollectionPerformanceData | Operations Manager データベースに書き込みます。 |
| WriteToDW または CollectPerfDataWarehouse | データ ウェアハウスに書き込みます。 |
| WC | パフォーマンス カウンターのベースライン データをオペレーション データベースに格納します。 |

 管理グループに存在するパフォーマンス収集ルールを表示するには、次のスクリプトを実行します。

function GetPerfCounterName ([String] $configuration)

{

$config = [xml] ("<config>" + $configuration + "</config>")

return ($config.Config.ObjectName + "\" + $config.Config.CounterName)

}

function GetFrequency ([String] $configuration)

{

$config = [xml] ("<config>" + $configuration + "</config>")

$frequency = $config.Config.Frequency;

if($frequency -eq $null)

{

$frequency = $config.Config.IntervalSeconds;

}

return ($frequency)

}

function GetDisplayName($performanceRule)

{

 if($performanceRule.DisplayName -eq $null)

 {

 return ($performanceRule.Name);

 }

 else

 {

 return ($performanceRule.DisplayName);

 }

}

function GetWriteActionNames($performanceRule)

{

 $writeActions = "";

 foreach($writeAction in $performanceRule.WriteActionCollection)

 {

 $writeActions += " " + $writeAction.Name;

 }

 return ($writeActions);

}

$perf\_collection\_rules = get-rule -criteria:"Category='PerformanceCollection'"

$perf\_collection\_rules | select-object @{name="Type";expression={foreach-object {(Get-MonitoringClass -id:$\_.Target.Id).DisplayName}}},@{name="RuleDisplayName";expression={foreach-object {GetDisplayName $\_}}} ,@{name="CounterName";expression={foreach-object {GetPerfCounterName $\_.DataSourceCollection[0].Configuration}}},@{name="Frequency";expression={foreach-object {GetFrequency $\_.DataSourceCollection[0].Configuration}}},@{name="WriteActions";expression={foreach-object {GetWriteActionNames $\_}}} | sort Type,RuleDisplayName,CounterName | export-csv "c:\perf\_collection\_rules.csv"